

新政権の医療政策

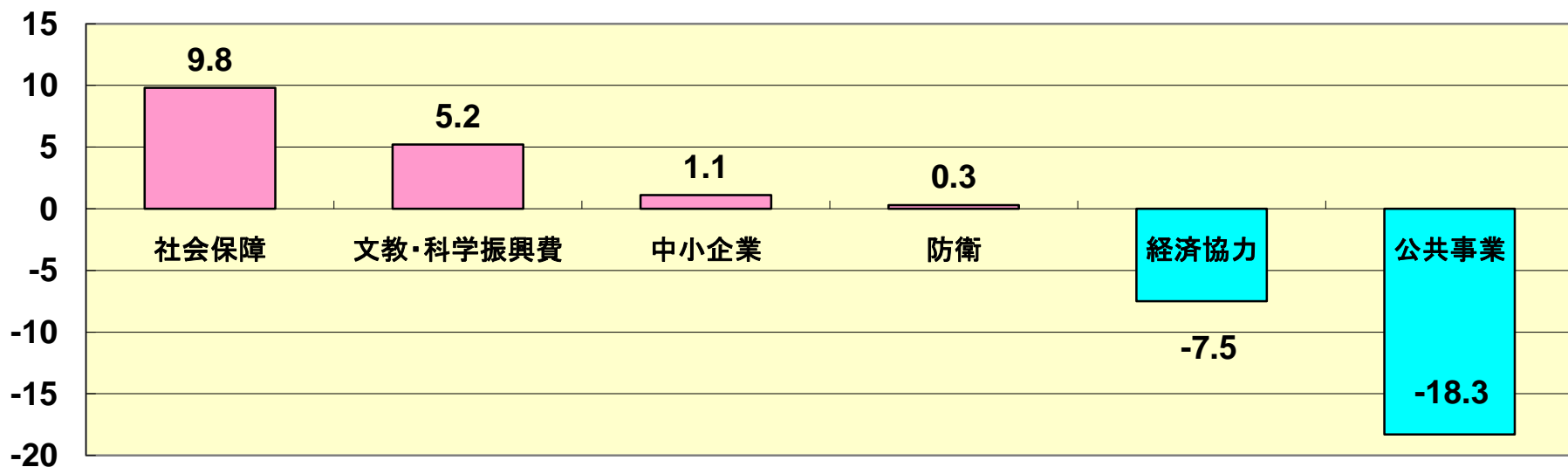
2010年3月17日

参議院議員・医師

梅村 聡

平成22年度予算 (主要経費の予算の変化)

(%) : 対前年比

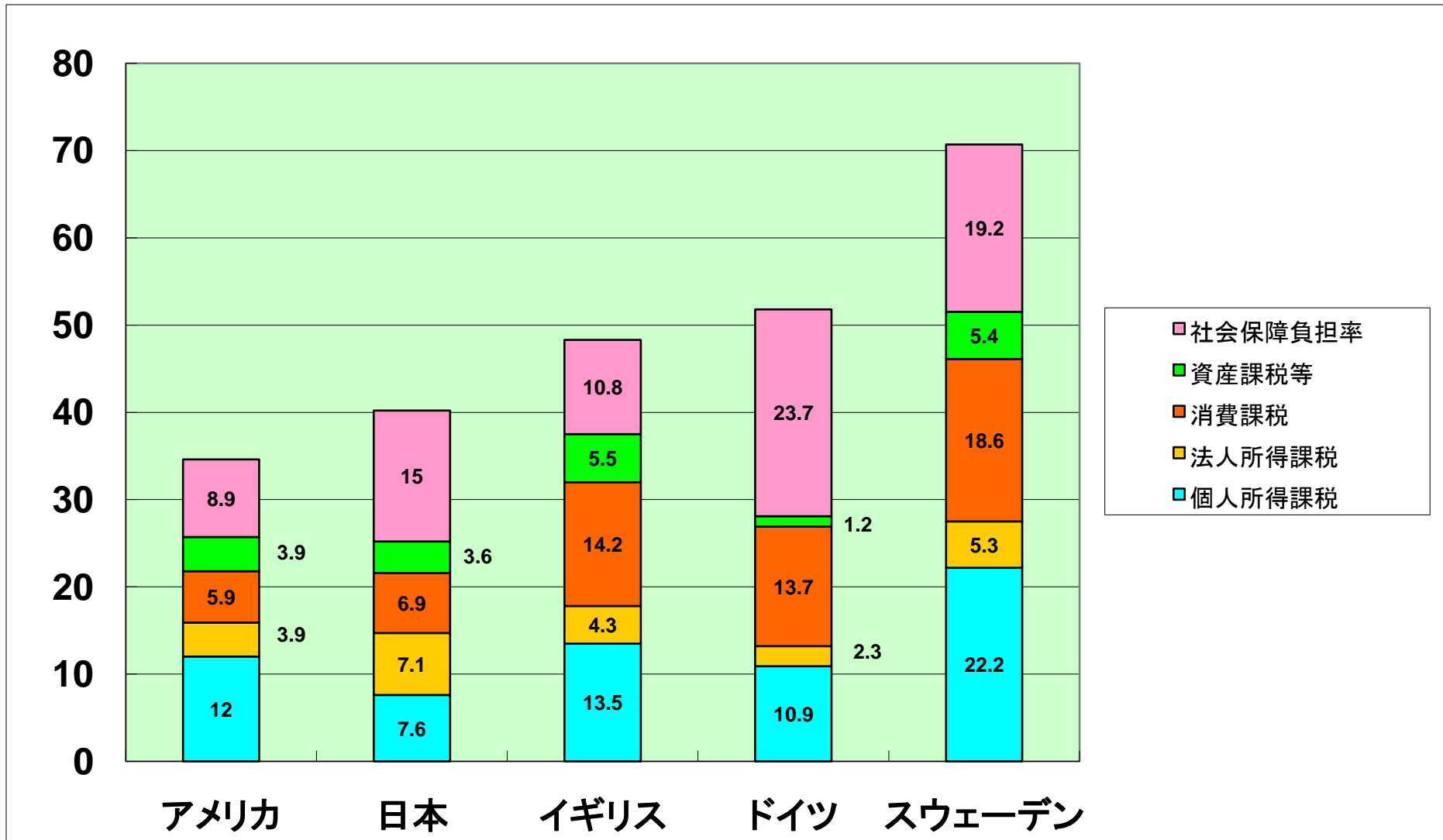


(対平成21年度からの伸び率)

診療報酬改定率の推移(単位:%)

改定年	全体改定率	平均	診療報酬本体			薬価等	
			医科	歯科	調剤		
H10年	-1.3	+1.5	+1.5	+1.5	+0.7	-2.8	
H12年	+0.2	+1.9	+2.0	+2.0	+0.8	-1.7	
H14年	-2.7	-1.3	-1.3	-1.3	-1.3	-1.4	
H16年	-1.0	±0.0	±0.0	±0.0	±0.0	-1.0	
H18年	-3.16	-1.36	-1.5	-1.5	-0.6	-1.8	
H20年	-0.82	+0.38	+0.42	+0.42	+0.17	-1.2	
H22年	+0.19	+1.55	+1.74		+2.09	+0.52	-1.36
			[入院] +3.03	[外来] +0.31			

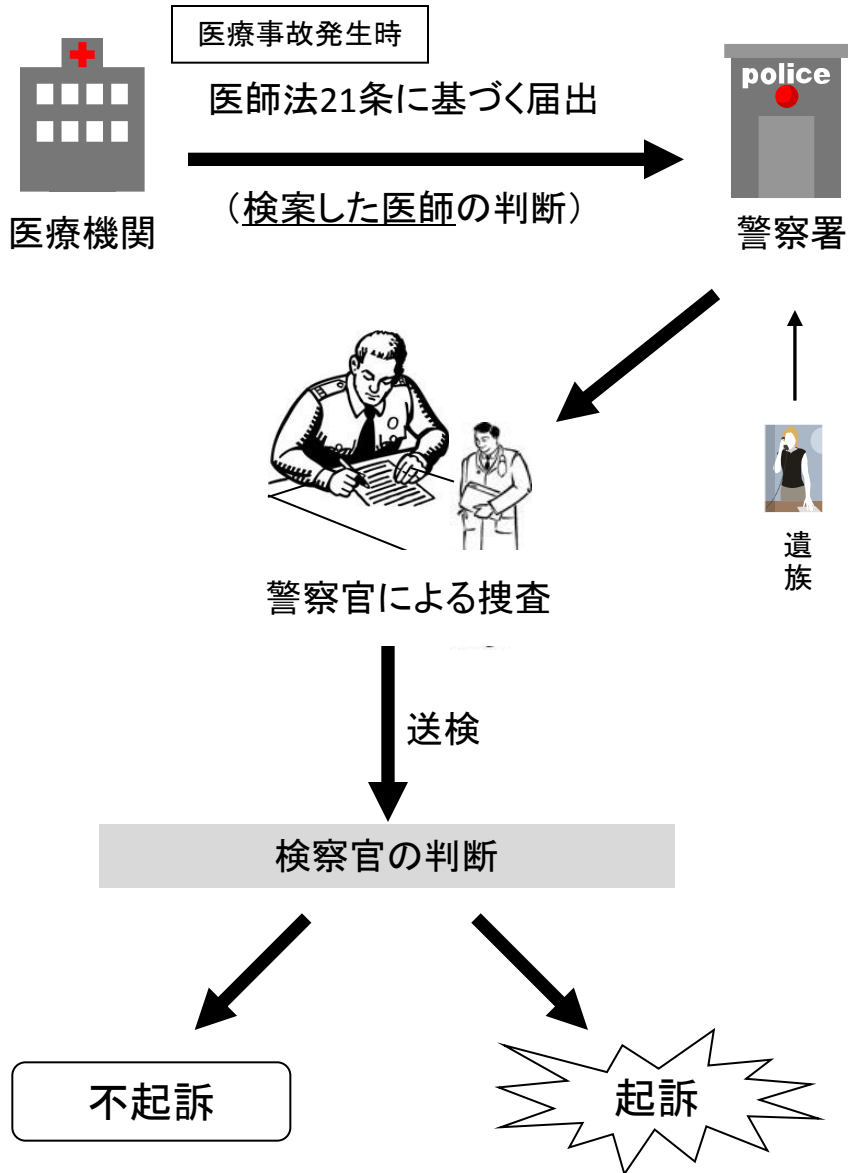
国民負担率の内訳(対国民所得比)



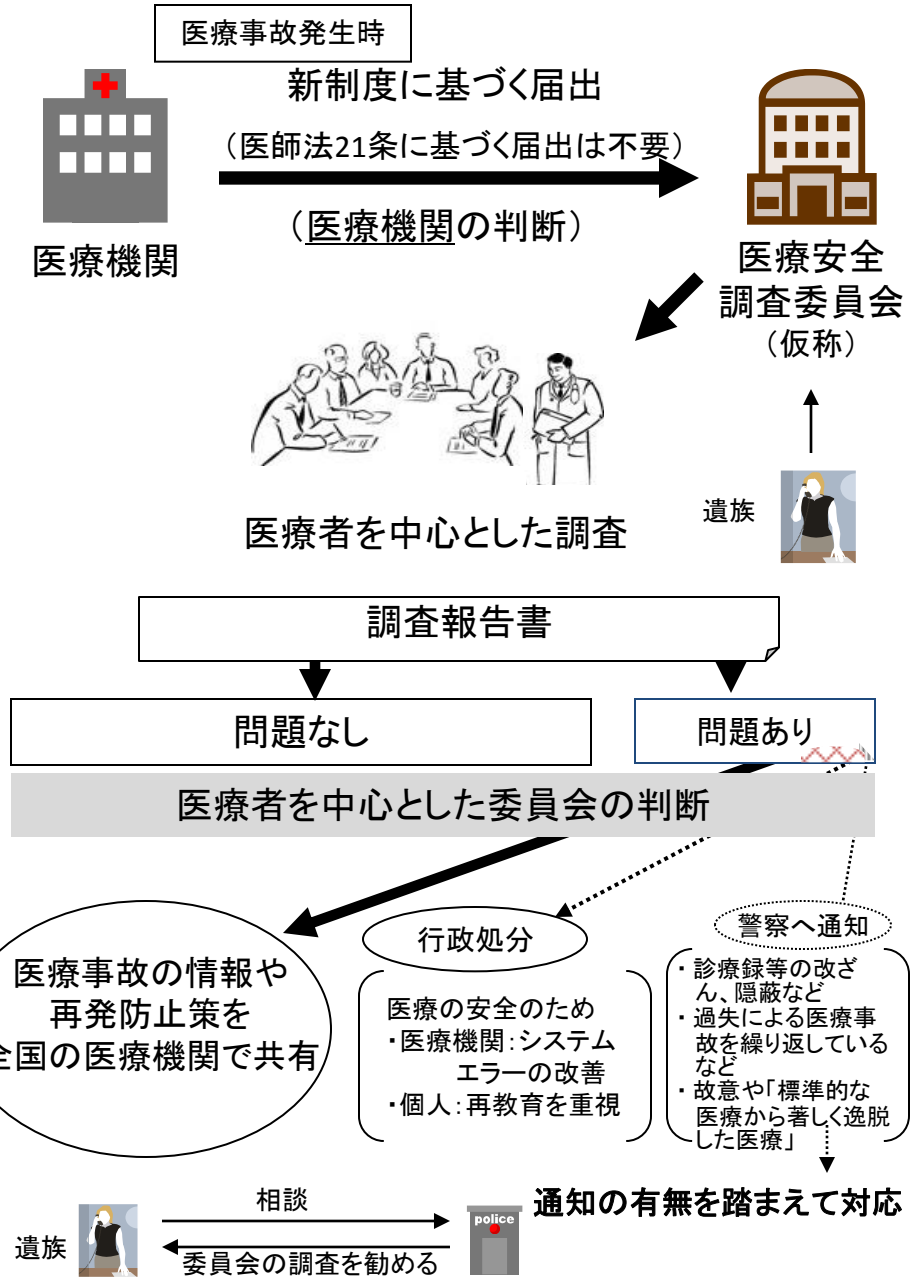
(出典)財務省

医療政策といえは出てくる話はカネばかり？

《現行》



《新制度 (案)》 (別紙1)



民主党案の狙い

目的：患者・家族の納得
科学的な原因究明

対象：全て

手段：診療経過の説明義務、対話の促進
死亡診断の充実
院内事故調査委員会の設置義務
紛争解決への支援
事故報告制度の拡充による再発防止

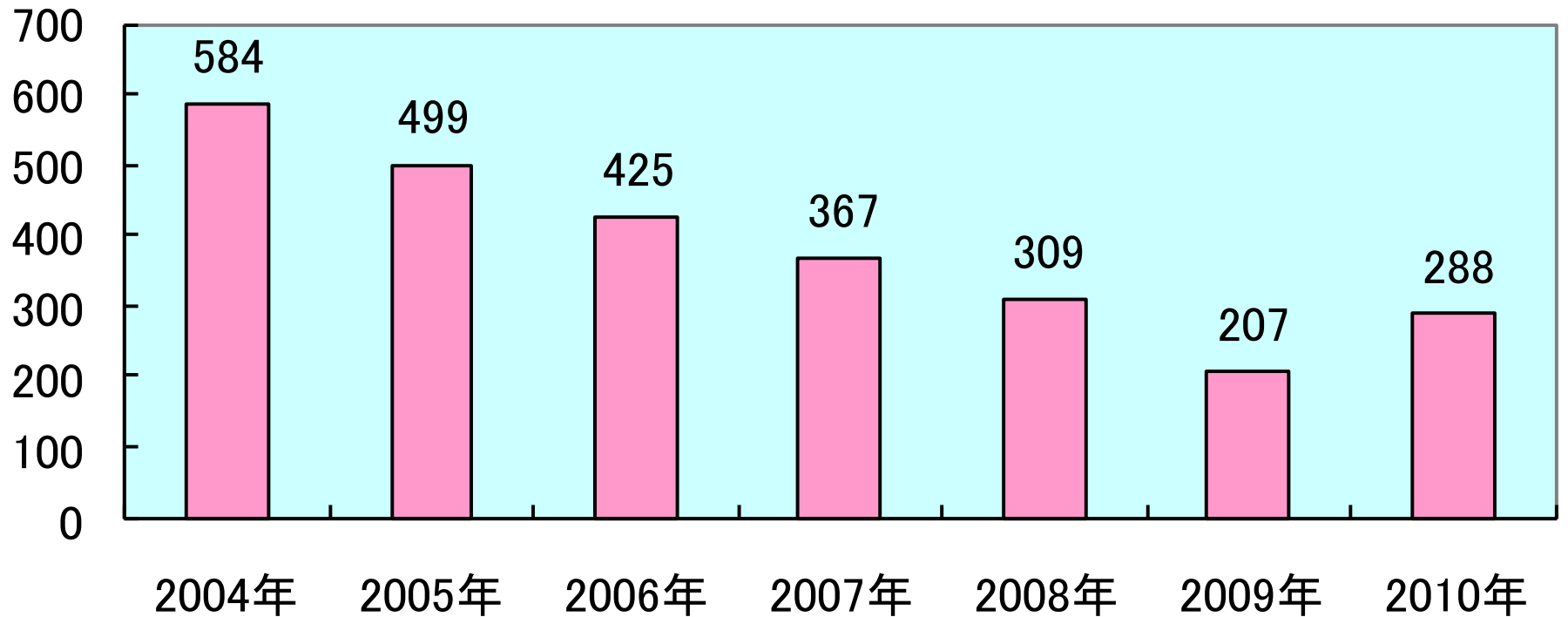
理念：新たなハコモノを作らない
診断書・検案書交付、警察への届出対象の明文化
報告書を刑事・民事訴訟に連動させない

例えば・・・

- 臓器移植
 - 医師養成数1.5倍
 - 新型インフルエンザ対策
 - 地域医療貢献加算(?)
- 等々

医療界が求められているのは
「自律性の確立」と「人材育成」

国立大学病院運営費交付金の推移



文部科学省資料より(2010年は予算額)